

主な出来事

【内政】

- 内閣の一部改造
- UNによる水・エネルギー大臣の除籍
- RPGによるンドング・メヨ外務副大臣の除籍
- 政府報道官によるEU決議への批判

【外政】

- ボンゴ大統領のニューヨーク訪問
- ボンゴ大統領のアンゴラ大統領就任式出席

【経済】

- BADによる予算支援
- IMF報告書：CEMACマクロ経済状況

【内政】

１ 国民議会第二会期の開催

４日、国民議会第二会期が開始され、国民議会議長は、政府に対して財政悪化を改善させるため公金支出を抑制するよう呼びかけた。今会期では、２０１８年政府予算案のほか、政治対話に係る決議について審議が行われる。（５日付UN）

２ 上院第二会期の開催

４日午後、上院の第二会期が開始され、上院議長は開会宣言において、政治対話覚書の実施に向けた新内閣への協力、経済再建計画の成功を呼びかけた。（５日付UN）

３ 治安当局による野党デモの制圧

４日、ピン氏をはじめとする「新共和国のための連盟（CPNR）」によって予定されていたデモは、催涙ガスを使用した治安当局により制圧された。（５日付UN）

４ 経済社会評議会第二会期の開催

５日、経済社会評議会（CES）の第二会期が開始され、同議長は、今会期において政治・経済危機、経済再建計画、環境破壊による経済的・社会的影響について議論する旨発言した。（６日付UN）

５ 政治対話共同ファシリテーターの表彰

６日、ボンゴ大統領は、３月から５月にかけて実施された政治対話において共同ファシリテーターを務めた高位聖職者の代表ら４名を表彰した。（７日付UN）

６ 内閣の一部改造

Facebook 上でイソゼ・ンゴンデ首相を批判したことを理由に、ベン・ムーバンバ住宅・都市・都市計画大臣が更迭され、新たにジョスエ・ンバディンガ・ンバディンガ前モアビ県

上院議員が、住宅・都市・都市計画大臣に就任した。(8日付UN)

7 司法官職高等評議会の開催

8日、ボンゴ大統領は、司法官職高等評議会(CSM)を開催し、司法官に対して共和国及び法への忠誠と遵守を呼びかけた。(8日付UN)

8 H&Mによるボンゴ大統領に対する批判

9日、相続と近代性(H&M)は、言論犯罪にて逮捕・抑留された野党関係者への一連の対処を非難し、ボンゴ大統領に対して憲法遵守を要請した。(10日付GR, 11日付UN)

9 UNによる水・エネルギー大臣の除籍

5日、UNは9月に入閣したエヨゴ・エザング水・エネルギー大臣の除籍を決定した。(13日付UN, 12日付GR)

10 政府による恩赦の検討

13日、イソゼ・ンゴンデ首相はインタビューにおいて、ボンゴ大統領の指示のもと、政府は客年の大統領選挙の暴力行為に係る被抑留者に対する恩赦を検討していると伝えた。(13日付AFP, 13日付RFI)

11 経済再建計画の加速化に向けた政府セミナーの開催

14日から15日にかけて、リーブルビル北部において、経済再建計画の加速化に向けたセミナーが開催された。同セミナーにおいて、経済大臣から、経済再建計画についての説明がなされたほか、ビジネス環境改善、官民対話の促進、人事管理、機構改革について議論が行われた。(14日付UN)

12 RPGによるンドング・メヨ外務副大臣の除籍

8月の内閣改造にて新たに入閣したンドング・メヨ外務副大臣はガボンのための結集党(RPG)から除籍された。ンバ・アボソレRPG代表は、同党への相談なく入閣した同副大臣を非難した。(19日付UN)

13 上院議員による欧州議会決議への批判

アフリカ・カリブ海・太平洋諸国(ACP)・EU・ガボン上院議員グループは、欧州議会によるガボンの政治情勢に係る決議を非難した。また、上院議長は、欧州議会議員がガボンの不安定化を助長しているとして、同決議を否定した。(20日付UN)

14 UN党会合の開催

22日、UN党会合が開催され、UN代表は、教育システムの破綻、健康保険・社会保障公庫(CNAMGS)の横領等について触れたほか、客年の大統領選挙後の暴力行為、社会保障協定の破綻についても述べ、これらの危機を解決するには、2009年9月3日のボンゴ大統領当選日まで遡る必要がある旨発言した。(22日付GR, 23日付UN)

15 PDG議員による欧州議会決議への批判

国民議会PDGグループ議員らは、欧州議会によるガボン決議に関して、政治対話が実施され、同対話覚書の実現に向けて内閣改造が行われたところであるとして、同決議を批判した。(23日付GR, 23日付UN)

16 政府報道官による欧州議会決議への批判

22日、ビリ・ビ・ンゼ政府報道官は、記者会見において、欧州議会議員によるガボンに係る決議は、これまでの政治的緊張の緩和に係る一連の進展を考慮しておらず、正当でないと反論した。(23日付UN)

17 シマ前首相による対話の呼びかけ

23日、シマ前首相は、危機緩和に向けた対話の実施を呼びかけた。(26日付UN)

【外政】

1 ガボン外相と外交団との会合

12日、メソネ外相は当地外交団と会談し、内政課題として政治対話プロセスの進展と経済再生計画の実施について述べたほか、安保理改革、中・西部アフリカの安全保障等主要外交課題について発言した。(13日付UN)

2 ボンゴ大統領のニューヨーク訪問

18日から21日にかけて、ボンゴ大統領はニューヨークを訪問し、スロヴァキアのみロスラフ・ライチャーク外務大臣が議長を務める第72回国連総会に出席した。(16日付UN)

3 ボンゴ大統領のアンゴラ大統領就任式出席

26日、ボンゴ大統領はアンゴラを訪問し、23日の総選挙で当選したローレンソ大統領就任式に出席した。(27日付UN)

【経済】

1 Maurel&Prom：2017年上半期売上高の発表

Maurel&Promグループの2017年上半期売上高は、油価の上昇により、前年比21%増の1億7,200万ユーロを記録した。(14日付UN)

2 標準価格の導入：物価高対策

18日、物価高対策として、政府、港湾関係者、消費者労働組合等により、167製品の標準価格表が確定された。(18日付GR)

3 BADによる予算支援

本年3月における1,310億CFAフランの供与に続き、25日、アフリカ開発銀行(BAD)は第2フェーズに向けた協議を開始した。IMF、世銀との協議のもと、BADは、2017年から2019年にかけて、ガボンに対して8,500億CFAフランの支援を予定している。(20日付UN)

4 IMF報告書：CEMACマクロ経済状況

IMFは、2月から5月にかけてのCEMAC諸国のミッションを終えて、同地域のマクロ経済の課題に係る報告書を発表した。同報告書において、油価下落及び石油収入の減少による外貨準備の減少、経常収支の悪化について触れられ、IMF支援策の実現に向けた中部アフリカ諸国銀行(BEAC)による取組の必要性について言及されている。(20日付GR)

5 GESZ・Meridum 協力

19日, GSEZ社(ガボン経済特区管理会社)は Meridum との間で港湾キャパシティ強化に係る戦略的パートナー提携に署名した。(22日付UN, 19日付GR)

出典:PR(大統領府公式HP),UN(ユニオン紙),GM(ガボン・マタン紙),GN(ガボン・ニュース電子版ニュース),AFP,GA(Gabonactu.com),GR(ガボン・レビュー電子版ニュース),LG(ル・ガボン電子版ニュース),GE(ガボン・エコ電子版ニュース),AFP(フランス通信社),GL(ガボンリブル電子版ニュース),AFI(アフリカ・エネルギー・インテリジェンス),LP(LOUP 紙),EN(エコ・ノール紙)